

気候変動適応センター 今年度の事業

福岡県気候変動適応センター

令和4年度第1回福岡県気候変動適応推進協議会 2022年8月23日

主な内容

環境省委託業務

令和4年度国民参加による気候変動情報収集・分析委託業務

目的

- 地域住民の参加による気候変動影響情報の収集・分析、及び地域気候変動適応計画（福岡県地球温暖化対策実行計画）に貢献する科学的知見の創出。
- 地域住民の気候変動適応への理解促進。

国環研共同研究

気候変動による暑熱・健康等への影響に関する研究

目的

地域の現状を把握するために、熱中症搬送者数に関する分析や将来予測、暑さ指数（WBGT）の観測等に取り組む。

ワークショップ

地域で起こっている気候変動影響について情報を収集する

県内の傾向把握

県内複数地点で観測を行い、公開情報と合わせて県内の傾向を把握する

特定環境

学校環境・農作業環境での観測を行い熱中症リスクを調査する

観測機器間の差異調査

観測情報と公開情報を合わせて解析するため、使用機器との比較を行う

情報収集

熱中症による救急搬送者の情報収集と整理

ワークショップ

目的 地域の気候変動影響を把握する

対象 県民

時期 10月頃

内容 身近で感じる気候変動や影響について話し合う
影響について、重要度や優先度を検討する
重要度や優先度の高いものは適応策を考える



情報を整理し提供する

身近で発生している気候変動の影響について伝える
気候変動の影響について、対策が必要なことを伝える
どんな対策ができるのか（適応策）を伝える

県内の傾向把握

- 県内の地形は様々で（都市域、郊外、田園、山間部など）、気象状況が異なる。
- ◆ 県内全域の傾向を把握し、地域に応じた熱中症対策を検討する。

観測

県内5か所に観測機器を設置し、気温、湿度、WBGTを観測する。

データ収集

気象庁や環境省が提供する情報（気温・湿度・WBGT）を集める。

情報整理

観測情報と提供情報を解析し、県内の傾向を把握する。

周知

把握した情報について、チラシやスライドを作成し市町村へ伝える。



5

学校での熱中症リスク調査

- 子どもは体温調整機能が未発達で暑さに対する抵抗力が弱く熱中症になりやすいと言われている。
- ◆ 長い時間を過ごす学校の暑熱環境を測定し対策を検討する。

観測

小学校に観測機器を設置し、気温、湿度、WBGTを観測する。

データ収集

熱中症様症状発生の聞き取りを行う。
気象庁や環境省の提供情報を集める。

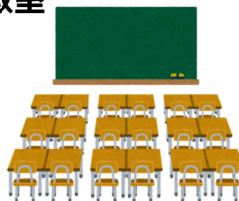
情報整理

観測情報と集めた情報を解析し、学校内での熱中症のリスクを把握する。

周知

把握した情報について、チラシやスライドを作成し県民へ伝える。

教室



体育館



校庭



日陰



校内での熱中症のような症状の発生について聞き取り



6

農作業時の熱中症リスク調査

- 暑い時期でも屋外やハウス内作業があり、熱中症の危険がある。また、従事者は高齢者も多く対策が必要。

◆ 農作業時の暑熱環境を調査し対策を検討する。

観測

農林業総合試験場に観測機器を設置し、気温、湿度、WBGTを観測する。

データ収集

熱中症様症状発生の聞き取りを行う。
気象庁や環境省の提供情報を集める。

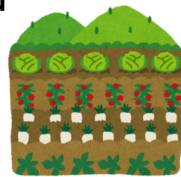
情報整理

観測情報と集めた情報を整理し、作業時の熱中症のリスクについて把握する。

周知

把握した情報について、チラシやスライドを作成し県民へ伝える。

田畑



ハウス



畜舎



事務所や木陰



熱中症のような症状の発生について聞き取り



観測機器間の差異調査

- 暑熱環境観測では、気象庁や環境省が提供する情報も併せて解析する。

◆ 使用する機器と提供情報との差異を把握し、解析を行う。

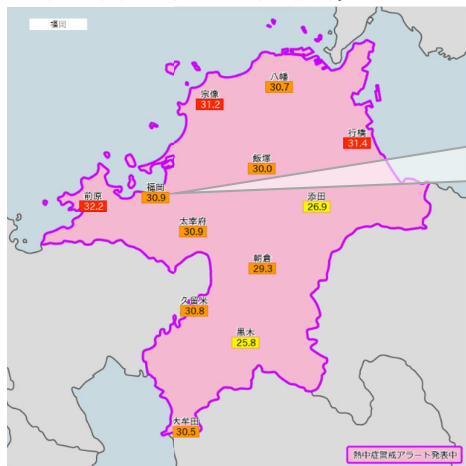
観測

福岡管区気象台に設置の環境省機器の近くに、センターで使用する機器を設置し観測を行う。

情報整理

観測情報と気象庁・環境省の提供情報を整理し、差異の程度を確認する。

環境省熱中症予防情報サイト



環境省機器



センター機器



機器間の
差異を確認

熱中症救急搬送者の状況把握

目的

県内の熱中症発生状況を解析し、地域に応じた熱中症対策を検討する

課題

消防庁で収集・提供されている熱中症救急搬送者情報は集計データのため、詳細な解析が困難

データ形式（消防庁）

日付	都道府県コード	搬送人員（計）	年齢区分						傷病程度					発生場所							
			新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	不明	死亡	重症	中等症	軽症	その他	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆（屋内）	公衆（屋外）	道路	その他
2021/8/1	40	25	0	0	4	12	9	0	0	0	11	14	0	8	1	1	3	2	4	6	0
2021/8/2	40	40	0	0	3	17	20	0	0	0	14	26	0	12	8	2	3	4	0	8	3
2021/8/3	40	27	0	0	2	12	13	0	0	0	13	14	0	7	4	1	0	1	2	10	2
2021/8/4	40	59	0	0	7	27	25	0	0	1	31	27	0	19	8	4	3	5	7	10	3

日毎に集計された情報
発生した時間帯はわからない

県全体で集計された情報
地域別にはわからない

年齢区分、傷病程度、発生場所ごとに集計された情報
「高齢者の傷病程度がどうか？」などはわからない

依頼

県内の消防本部へ集計前情報の提供を依頼する

情報整理、妥当性確認・普及啓発

情報の整理

◆ 県内の状況として情報を整理する

- 気候変動影響情報
- 暑熱環境観測情報
- 救急搬送者情報

◆ 過去に調査して蓄積した情報や学術論文等と照らし合わせて整理する

◆ 気候変動の影響により発生しているものか否かを検証する

妥当性確認

情報を整理し、検証した内容について、専門家に意見照会し妥当性を確認する。

成果の公表

◆ パンフレットの作成

整理した情報をもとにパンフレットを作成し、環境イベント等で配布する。また、センターのホームページへ掲載し提供する。

◆ ホームページでの情報提供

センターのホームページへ情報を整理して掲載し提供する。

◆ 研修会等での情報提供

研修会や協議会で情報提供を行う。

スケジュール

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境省	地域の気候変動 影響情報収集 (ワークショップ)			← 企画・準備 →		▲ 募集	← 収集情報の整理 →		← 分析・妥当性確認・普及啓発 →		
	県内の暑熱環境 の傾向把握	← 企画・準備 →				観測		← 収集情報の整理 →	← 分析・妥当性確認・普及啓発 →		
	学校での熱中症 リスク調査	← 企画・準備 →			観測	← 聞き取り →		▲ 収集情報の整理	← 分析・妥当性確認・普及啓発 →		
	観測機器間差異 調査	← 企画・準備 →			観測	← 収集情報の整理・分析 →					
国環研	農作業時の熱中 症リスク調査		← 企画・準備 →		観測	▲ 聞き取り	← 収集情報の整理 →				
	救急搬送者情報 解析	← 企画 →	← 各消防本部へ連絡 →				← 各消防本部からデータ提供 →			← 収集情報の整理 →	